

これまでの教育施策の総括（成果と課題）

平成 27 年 7 月 22 日（水）
第 2 回総合教育会議資料

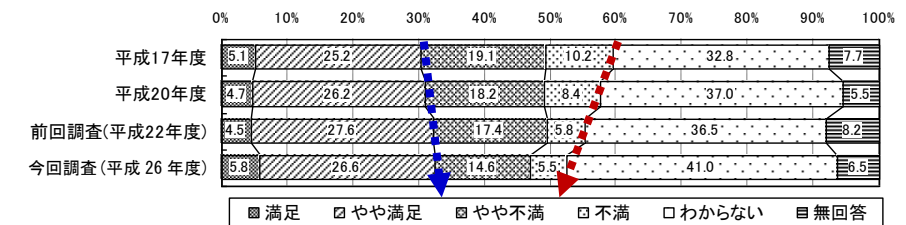
基本方針 1 義務教育の充実

(1) これまでの主な取組

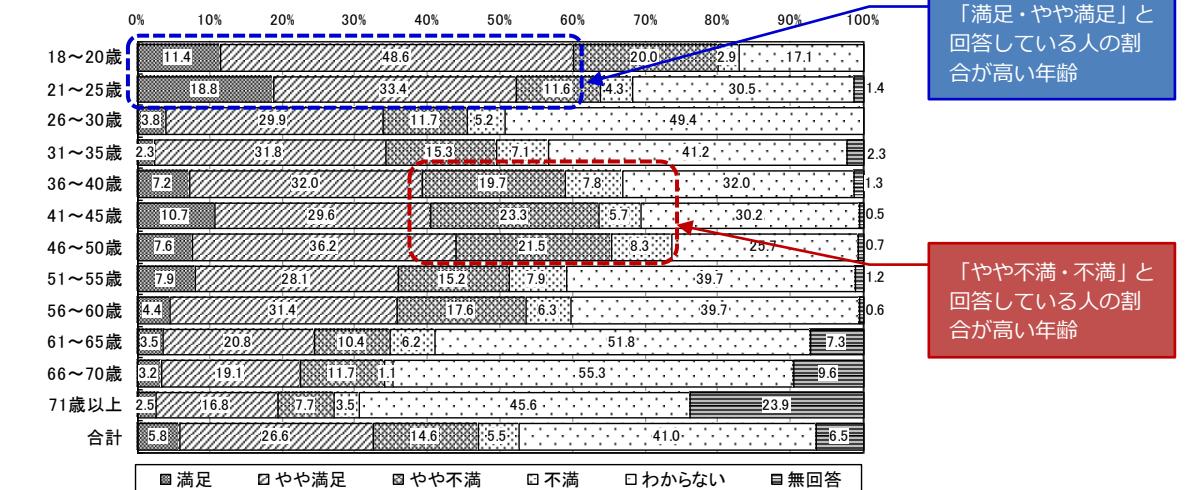
事業名	事業内容・実績等
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習充実支援（少人数指導）非常勤講師の配置 ◆チームティーチング非常勤講師の配置 (学診断テストの結果が県平均を上回っている児童生徒の割合（H20→H25）) ・小学生（国語：56.8%→58.2%，算数：54.1%→62.9%） ・中学生（国語：54.7%→49.2%，数学：56.9%→51.3%）
学校図書の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆全ての小中学校に学校図書司書嘱託員の配置 ◆学校図書の購入（約 10,000 冊）及び廃棄（約 5,000 冊）
適正規模適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ◆適正規模適正配置に関する基本方針の策定（H23.5） ・長戸小学校と城ノ内小学校の統合（H27.4.1） ・小規模校（大宮小・北文間小・川原代小）との意見交換の実施
龍・流連携事業	◆小中学校でボランティア派遣事業の実施
教育の日推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育の日宣言（H21～） (教育の日，教育月間の制定) ・たつのこサミットの参観 ・親子で作る給食献立・家族のキーワードの作品募集 ・幼稚園，保育園，小中学校の自由参観
特色ある学校づくり	◆著名人等を招聘した講演会等の実施（H16～）
魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆小小連携事業，小中連携事業 ◆地域との交流事業
外国語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆AET を活用した英語活動，英語教育の充実 ◆英語教育スーパーバイザーからの指導・助言
教育支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆龍の子支援体制システムの展開 ◆スクールカウンセラーの配置 ◆さわやかボランティア相談員・さわやか相談員の配置 ◆龍ヶ崎市いじめ防止基本方針の策定（H26）
学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆小中学校の耐震化率 100%（H7～H14） ◆全ての小中学校の普通教室にエアコンの設置（H25） ◆全ての小中学校のパソコンを Windows 8 に更新（H25） ◆大規模改修工事の実施 ・馴柴小学校（H19～H21） ・城西中学校（H25，H26）
第 3 子給食無償化	◆第 3 子給食無償化の実施（H25～）
いじめ防止	<ul style="list-style-type: none"> ◆龍ヶ崎市いじめ防止基本方針の策定（H26） ・龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会等条例の施行（いじめ問題対策連絡協議会，いじめ問題専門委員会，いじめ問題再調査委員会の設置）

(2) 成果（市民アンケート（小中学校の教育内容・施設））

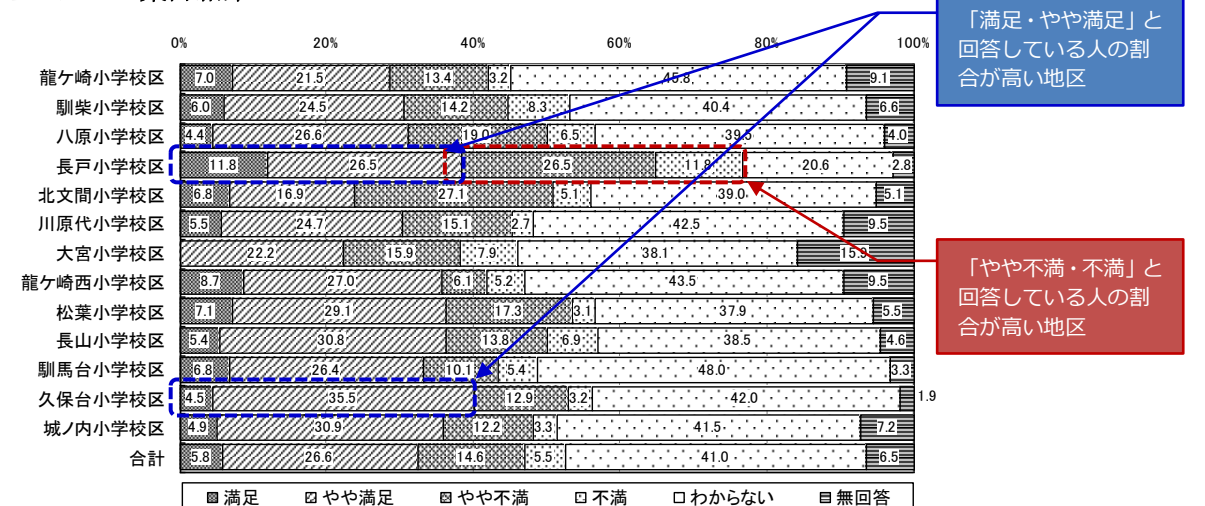
- ・小中学校の教育内容・施設については，約 3 割（32.4%）が「満足・やや満足」と回答している一方で，約 2 割（20.1%）が「やや不満・不満」と回答しています。また，前回調査（平成 22 年度）に比べて「満足・やや満足」では 0.3 ポイント高く，「やや不満・不満」では 3.1 ポイント低くなっています。
- ・年齢別にみると，18～20 歳や 21～25 歳において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の年齢層より高くなっている一方で，36～50 歳において「やや不満・不満」と回答している人の割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると，久保台や長戸小学校区において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっていますが，長戸小学校区では「やや不満・不満」と回答している人の割合も同ポイントで高くなっています。



■年齢とのクロス集計結果



■居住地区とのクロス集計結果



これまでの教育施策の総括（成果と課題）

(3) 今後の主要課題

- ・児童生徒の減少，小規模校の見直し（適正規模適正配置）
- ・学校施設の老朽化
- ・通学路の安全対策
- ・ICTの活用（タブレットの導入）
- ・経済困窮者への配慮（就学援助・奨学金）
- ・こどもの市政参画（こども議会の開催）
- ・学校と地域との連携強化
- ・小中連携事業，小中一貫校の研究（義務教育学校の制度化（H27.6.17閣議決定））
- ・いじめ問題への対応状況及び未然防止の取組
- ・市内小中学校への相談員派遣事業の充実
- ・第1調理場及び第2調理場の設備の老朽化及び再編成（PFI事業の実施検討）
- ・アレルギー除去食の配食の検討
- ・第3子給食費無償化の継続及び対象拡大の検討

(4) 総括

- ・少数指導，チームティーチング事業及び学校図書の実践など，学力の向上に関する取組を推進したことで，全国学力診断テストの結果が県平均を上回る割合は，平成20年度と比較すると小学校は増加しましたが，中学校は減少しました。
- ・著名人を招聘した特色ある学校づくりを実施したほか，各小中学校の地域特性を活かし，地域との交流事業や小中連携及び小中連携などの魅力ある学校づくり事業を実施しました。また，校舎等の老朽化が進行していた馴染小学校及び城西中学校について，平成19年度から大規模改修工事を実施するとともに，平成25年度には全ての小中学校の普通教室にエアコン設置しました。
- ・これらの取組を推進したことで，市民まちづくりアンケートにおいて，「満足・やや満足」と回答した割合は微増となり，「やや不満・不満」と回答した割合は減少したものと考えられます。
- ・今後も引き続き，学力の向上のみならず，豊かな心や，健やかな体の育成など，「知・徳・体」のバランスのとれた教育を進める必要があります。
- ・平成27年4月1日に長戸小学校と城ノ内小学校が統合したことに伴い，今後は長戸地区のアンケート結果を注視する必要があります。
- ・少子化の進行に伴い，今後も児童生徒数の減少が見込まれるほか，義務教育学校の制度化が閣議決定されたことから，小中学校の適正規模適正配置を多角的に検討する必要があります。
- ・平成21年度に龍ヶ崎市教育の宣言を行い，教育の日推進事業を実施してきました。今後も学校・地域・家庭がより連携し，明日の龍ヶ崎市を担う心豊かでたくましい子どもたちの育成に努める必要があります。
- ・学校施設及び給食センターの老朽化に伴い，市の公共施設の全体像を踏まえ，公共施設の再編成に取組む必要があります。

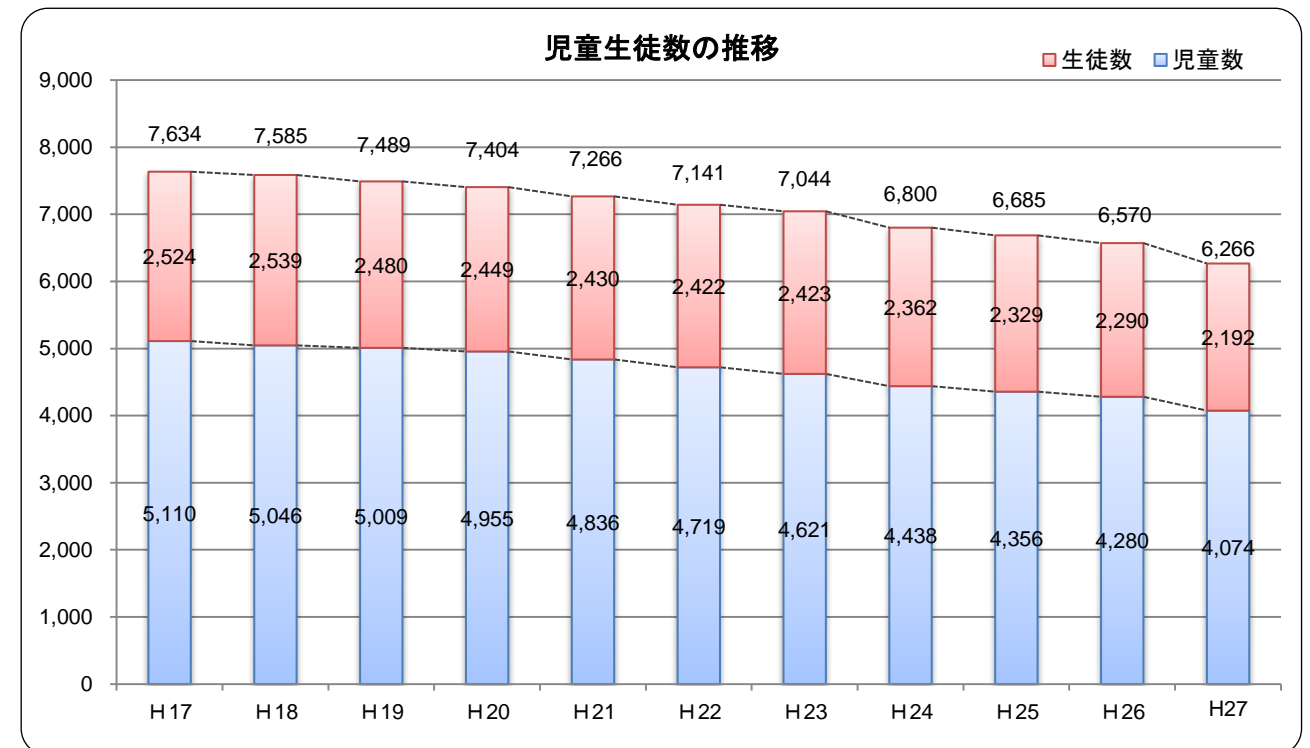
(参考1：まちづくり市民アンケートの地区別・年齢別回収状況)

年齢別	居住地区														無回答	総数
	龍ヶ崎	馴染	八原	長戸	北文間	川原代	大宮	龍ヶ崎西	松葉	長山	馴染台	久保台	城ノ内			
18～20歳	4	4	10	2	0	2	1	3	1	1	3	3	1	0	35	
21～25歳	7	8	5	2	1	2	1	7	6	5	12	9	3	1	69	
26～30歳	10	15	11	2	1	2	3	6	5	5	4	7	3	3	77	
31～35歳	5	14	14	0	2	1	1	4	10	8	8	8	10	0	85	
36～40歳	7	32	35	2	3	4	2	6	2	11	12	15	22	0	153	
41～45歳	12	32	38	0	3	4	5	5	12	4	9	19	16	0	159	
46～50歳	19	17	22	3	3	9	6	8	3	9	10	19	16	0	144	
51～55歳	17	29	17	4	5	6	7	9	9	12	23	15	10	1	164	
56～60歳	14	29	22	3	13	4	2	7	4	17	15	16	12	1	159	
61～65歳	30	35	28	8	14	12	14	16	30	19	25	20	4	4	259	
66～70歳	26	32	15	1	8	7	7	14	26	19	13	7	9	4	188	
71歳以上	35	54	30	7	6	20	14	30	19	19	14	16	17	4	285	
無回答	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	7	
総数	186	302	248	34	59	73	63	115	127	130	148	155	123	21	1,784	

※まちづくり市民アンケートは，平成26年8月12日（火）から平成26年9月25日（金）までの間に行いました。

※標本数は3,978票（4,000票の発送を行ったが，22通が宛先不明等で返送されたため，回収率を算出する母数3,978票とした。）であり，有効回収数は1,784票であったため，有効回収率は44.8%でした（前回調査：41.6%）。

(参考2：児童生徒数の推移)



これまでの教育施策の総括（成果と課題）

基本方針
2

生涯学習の推進

(1) これまでの主な取組

事業名	事業内容・実績等
生涯学習プログラム事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習プログラムの情報提供（85項目） ◆親子ふれあい教室の開催
図書館の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆指定管理者（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）による管理運営（H27.4～） ・開館日の拡大，開館時間の延長 ・電子書籍・新聞のデータベースの館内提供，音楽配信サービスの提供 【既存事業の継続】 ・ブックスタート事業の実施（図書のプレゼント） ・子ども読書活動の推進 ・ぬいぐるみの図書館お泊り会 など
人材バンクの充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆人材バンクの講師・指導者の登録・更新 ・人材バンクの情報提供（105名）
出前講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ◆市職員が地域に出向いて市役所の業務に関する内容を説明 ・市役所の業務以外に，公共機関編，民間企業編を追加
コミュニティセンターで生涯学習に関する各種講座	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種講座の実施 ※平成23年度に地区公民館からコミュニティセンターへ移行したことに伴い，所管課が市民協働課に移管され，現在は，コミュニティセンターで生涯学習と地域活動が展開されています。

(3) 今後の主要課題

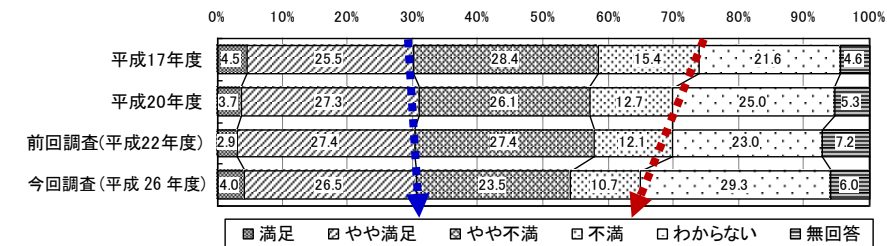
- ・ 県南生涯学習センターとの連携
- ・ 市民ニーズに沿った人材バンク講師・指導者の新規募集
- ・ コミュニティセンターで開催される講座等への人材バンク活用推進
- ・ 出前講座メニューの随時更新及び情報発信の充実
- ・ 中央図書館指定管理者の事業及び管理状況の確認（館内の見直し含む）

(4) 総括

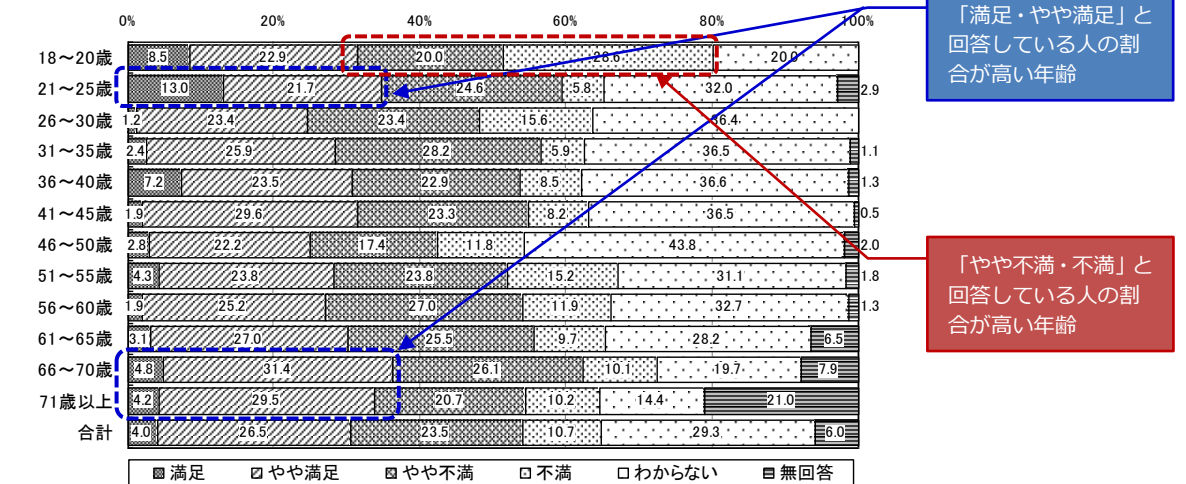
- ・ 人材バンクによる情報提供，出前講座の実施，コミュニティセンターで生涯学習に関する各種講座等の事業を実施しています。今後も高齢化の進行が予測され，老年人口の増加が見込まれることから，退職後などに生涯学習の活動に参加できる場を提供する必要があります。
- ・ 市民まちづくりアンケートの結果，18歳から20歳において「やや不満・不満」と回答している割合が高いことから，若い年代が参加しやすい生涯学習の活動に参加できる場の提供が必要です。
- ・ 中央図書館は，平成27年4月から民間事業者が指定管理者となり，開館時間の延長などの新たな市民サービスが提供されました。今後は，指定管理者の評価を適切に行う必要があります。
- ・ 生涯学習の推進に関する計画等は策定していないことから，今後は，教育プランを策定する中で，生涯学習の推進に関する施策及び指標等をより明確にする必要があります。

(2) 成果（市民アンケート（生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所））

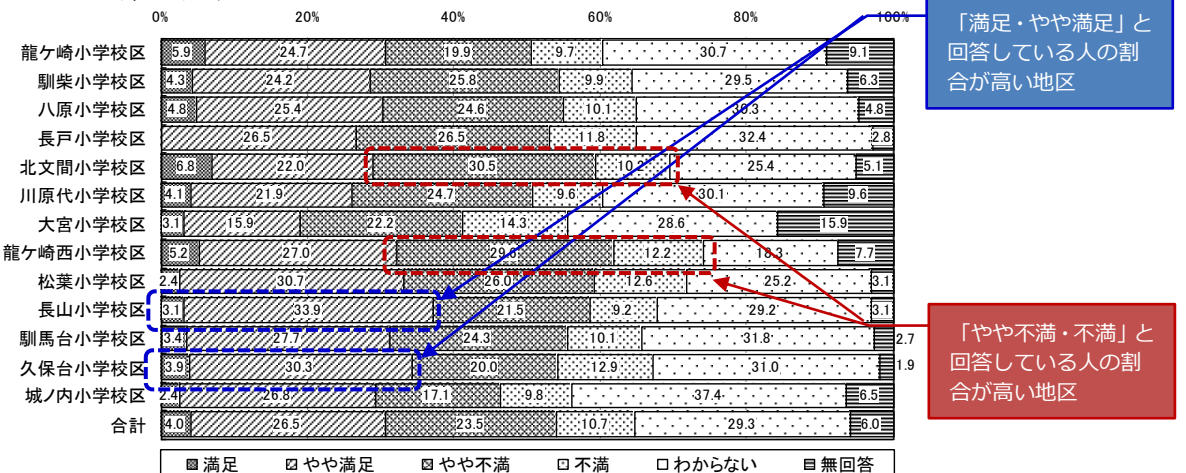
- ・ 生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所については，約3割（30.5%）が「満足・やや満足」と回答している一方で，約3割（34.2%）が「やや不満・不満」と回答しています。また，前回調査（平成22年度）に比べて「満足・やや満足」では0.2ポイント高く，「やや不満・不満」では5.3ポイント低くなっています。
- ・ 年齢別にみると，21～25歳や66歳以上において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の年齢層より高くなっている一方で，18～20歳において「やや不満・不満」と回答している人の割合が高くなっています。
- ・ 居住地区別にみると，長山小学校区及び久保台小学校区において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっている一方で，北文間小学校区及び龍ヶ崎西小学校区において「やや不満・不満」と回答している人の割合が高くなっています。



■年齢とのクロス集計結果



■居住地区とのクロス集計結果



これまでの教育施策の総括（成果と課題）

基本方針 3 青少年の健全育成

(1) これまでの主な取組

事業名	事業内容・実績等
成人式典の開催	◆市内6中学校区ごとに成人式典を開催
青少年センターの充実	◆あいさつ声かけ運動（青少年育成龍ヶ崎市民会議、保護司会との連携） ◆市内巡回及び該当指導
更生保護サポートセンターの開設	◆龍ヶ崎地区更生保護サポートセンターの開設（H24.7）
家庭教育及び青少年相談体制の充実	◆子育てふれあいセミナーの実施 ◆家庭教育相談の実施 ◆青少年相談の実施
遊びの拠点づくり	◆大型遊具の設置（H27.3.20） ◆プレーパークの実施（H26～）
屋外広告物の巡視、指導等の実施	◆定期的な巡回及び設置業者への指導 ◆違法屋外広告物の撤去 ◆青少年の健全育成に協力する店との連携
保育預かりサービスの充実	◆全ての小学校に学童保育ルームの設置 ◆8月の臨時放課後児童指導嘱託員は、流通経済大学生から採用 ◆保育ルーム児童と流通経済大学生の交流事業の実施

(3) 今後の主要課題

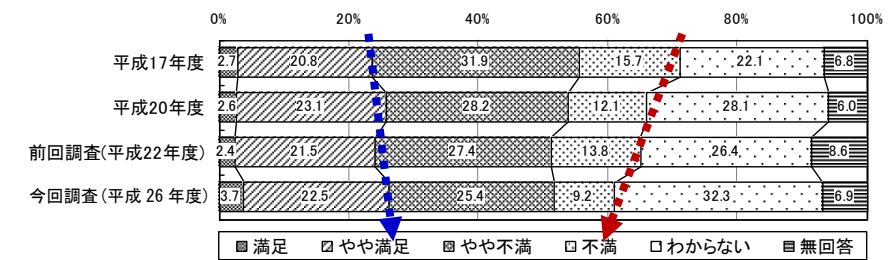
- ・成人式典の開催（開催方式の検討）
- ・青少年育成龍ヶ崎市民会議の支部としての活動の充実
- ・放課後健全育成事業の設置及び運営に関する基準条例に適合した学童保育ルームの運営
- ・放課後子ども教室の開設

(4) 総括

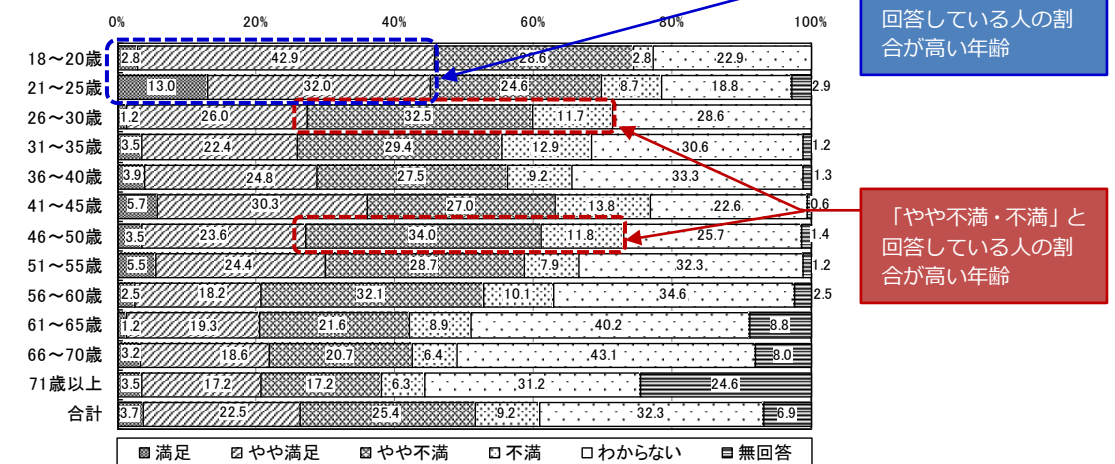
- ・青少年指導員による街頭指導のほか、子ども会や青少年育成龍ヶ崎市民会議との連携による、あいさつ声かけ運動を実施しています。しかしながら、まちづくり市民アンケートの結果において、当該施策の不満度は最も高く、今後重点的に取り組んでほしい項目であるため、教育プランを策定する中で、今後の取組項目等を検討する必要があります。
- ・教育委員会だけでなく、市内部の連絡調整を図るとともに、警察などの関係機関等との連携を図り、青少年の健全育成に取り組む必要があります。
- ・全ての小学校に学童保育ルームを設置するとともに、対象学年を3年生から6年生までに引き上げました。今後も保育ルームの利用者数は減少する見込みがないため、指導員の確保をはじめ、ルームの管理運営を行う必要があります。

(2) 市民アンケート（若者が健全に育つ環境）

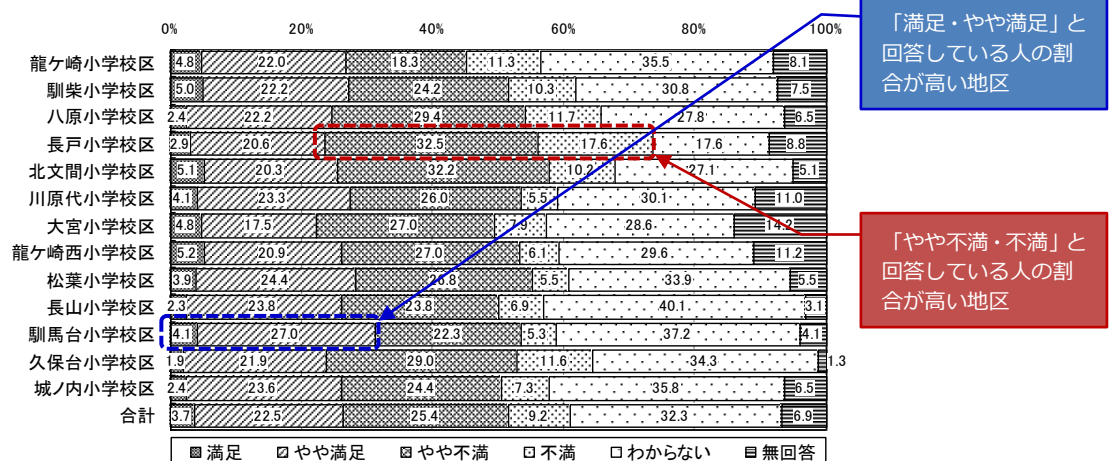
- ・若者が健全に育つ環境については、約2割（26.2%）が「満足・やや満足」と回答している一方で、約3割（34.6%）が「やや不満・不満」と回答しています。また、前回調査（平成22年度）に比べて「満足・やや満足」では2.3ポイント高く、「やや不満・不満」では6.6ポイント低くなっています。
- ・年齢別にみると、18～25歳において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の年齢層より高くなっている一方で、26～30歳や46～50歳では「やや不満・不満」と回答している人の割合が他の年齢層よりも高くなっています。
- ・居住地区別にみると、駒馬台小学校区において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっている一方で、長戸小学校区では「やや不満・不満」と回答している人の割合が5割を超え、他の地区に比べて高くなっています。



■年齢とのクロス集計結果



■居住地区とのクロス集計結果



これまでの教育施策の総括（成果と課題）

基本方針 4

スポーツの推進

(1) これまでの主な取組

事業名	事業内容・実績等
総合運動公園の整備	◆たつのこアリーナ (H14.7) ◆たつのこフィールド (H19.4) ◆たつのこスタジアム (H22.5)
スポーツ推進計画の策定	◆スポーツ健康都市宣言 (H19.4.1) ◆スポーツ振興基本計画の策定(H21.12), スポーツ推進計画(後期)の策定(H27.2)
総合運動公園等の管理運営 (14 施設)	◆指定管理者(たつこのまちづくりパートナーズ)による管理運営 (H26.4~) ・開館時間の延長, 体組成計の設置 ・無料券(ウェルカムチケット)の配布 【既存事業の継続】 ・スポーツ教室, 市民ウォークラリー大会, 市民スポーツフェスティバル, 市民スポーツ・レクリエーションまつり など
スポーツ指導者バンクの充実	◆スポーツ指導者の派遣 ◆スポーツ指導者講習会の開催
総合型地域スポーツクラブの育成	◆NPO 法人「クラブ・ドラゴンズ」の支援・育成 (H22 設立)
流通経済大学運動部のバックアップ	◆市の運動施設の優先貸出 ◆運動部を支える市民団体との連携 ◆応援ツアーの実施

(3) 今後の主要課題

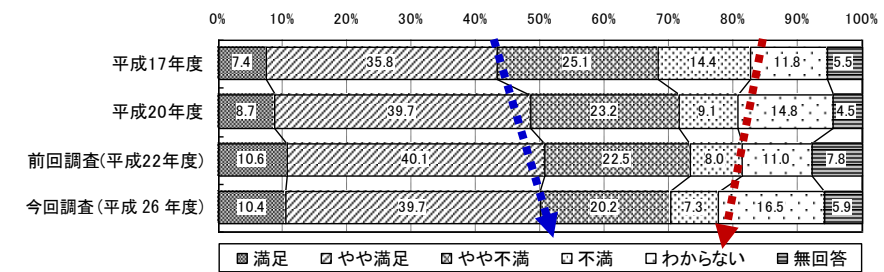
- ・流通経済大学との連携強化
- ・スポーツ情報の充実
- ・総合運動公園のリニューアル
- ・トップアスリートの技術に触れる機会の充実
- ・茨城国体 (H31) の開催に向けた準備
- ・東京オリンピック・パラリンピック (H32) 等の事前合宿練習場の候補地としての招致活動

(4) 総括

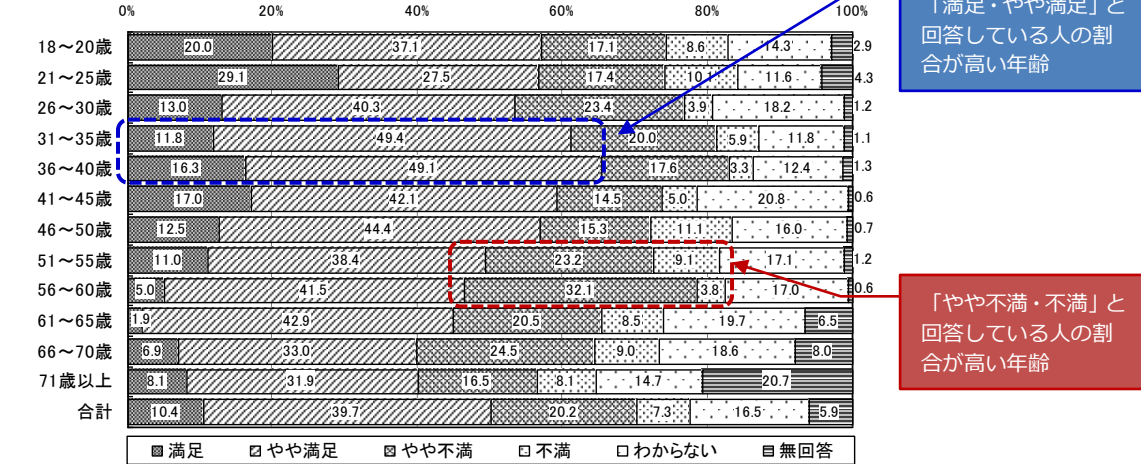
- ・総合運動公園の完成に伴い、スポーツに親しむ環境が大きく整ったため、まちづくり市民アンケートにおいて、「満足・やや満足」と回答した増加するとともに、「やや不満・不満」と回答した割合が減少したものと考えられます。また、八原小学校区及び城ノ内小学校区は、総合運動公園に隣接しているため、「満足・やや満足」と回答している割合が高いものと考えられます。
- ・総合運動公園を含む 14 施設は、平成 26 年 4 月から民間事業者が指定管理者となり、開館時間の延長などの新たな市民サービスが提供されました。今後は、指定管理者としての評価を適切に行う必要があります。
- ・スポーツフェスティバル及びスポーツ・レクリエーションの開催のほか、茨城国体をはじめとする大規模なスポーツ大会の開催を通じて、さらなるスポーツ推進の施策を展開する必要があります。
- ・大学があるまちのメリットを活かし、流通経済大学との連携事業を実施してきました。今後も幅広い分野での連携事業を展開する必要があります。

(2) 市民アンケート（体を動かし、スポーツやレクリエーションに親しむ機会・施設）

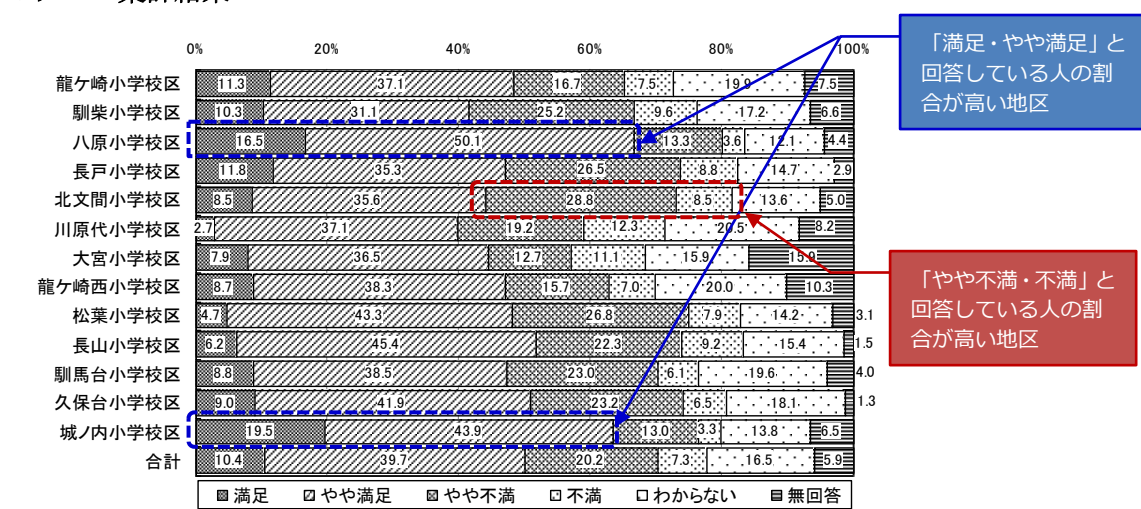
- ・体を動かし、スポーツやレクリエーションに親しむ機会・施設については、約 5 割 (50.1%) が「満足・やや満足」と回答している一方で、約 3 割 (27.5%) が「やや不満・不満」と回答している。また、前回調査 (平成 22 年度) に比べて「満足・やや満足」では 0.6 ポイント、「やや不満・不満」では 3 ポイント低くなっています。
- ・年齢別にみると、31~40 歳において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の年齢層より高くなっている一方で、51~60 歳では「やや不満・不満」と回答している人の割合が他の年齢層よりも高くなっています。
- ・居住地区別にみると、八原小学校区及び城ノ内小学校区において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっている一方で、北文間小学校区では「不満・やや不満」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっています。



■年齢とのクロス集計結果



■居住地区とのクロス集計結果



これまでの教育施策の総括（成果と課題）

基本方針 5 文化・芸術の振興

(1) これまでの主な取組

事業名	事業内容・実績等
文化財の指定・保護	<ul style="list-style-type: none"> ◆国・県指定文化財の現状確認調査 ◆普及啓発活動の実施 ◆文化財の指定（23種）
市民遺産制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ◆指定文化財以外の身近な有形・無形の文化財を認定 ◆まちの魅力の再発見・掘り起こしにより、保存・伝承 ◆市民の提案により認定
文化会館の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆指定管理者（（公財）まちづくり・文化財団）による管理運営（H18～） ・文化団体と共済事業の実施（文化芸術フェスティバルなど） ・地域文化活動の支援 ・鑑賞・招聘型事業の実施など
歴史民俗資料館の関る運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆指定管理者（（公財）まちづくり・文化財団）による管理運営（H18～） ・企画展の充実 ・普及事業の実施 ・体験学習教室の実施など
まちの歴史・文化に関する知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校授業（生活科・社会科）の実施 ◆市新規採用職員研修の実施 ◆社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」改訂版の活用

(3) 今後の主要課題

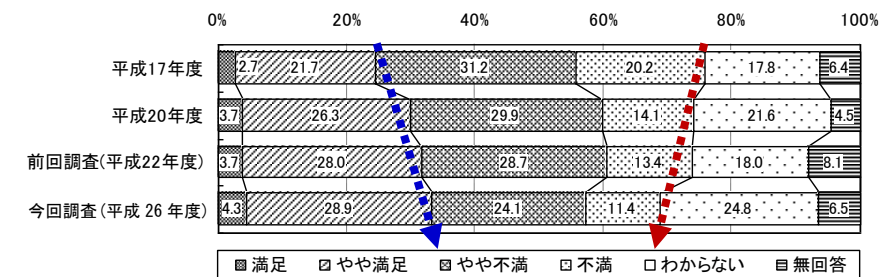
- ・文化財、市民遺産の活用策（文化財のPRイベントの開催等）
- ・文化財指定候補物件の選定・調査研究
- ・市民遺産制度の円滑な運用
- ・文化芸術フェスティバルの充実
- ・魅力ある自主文化事業の実施
- ・文化会館の設備更新（大ホール舞台床、座席等）
- ・歴史民俗資料館常設展示のリニューアル（企画展・講座・講演の内容充実）

(4) 総括

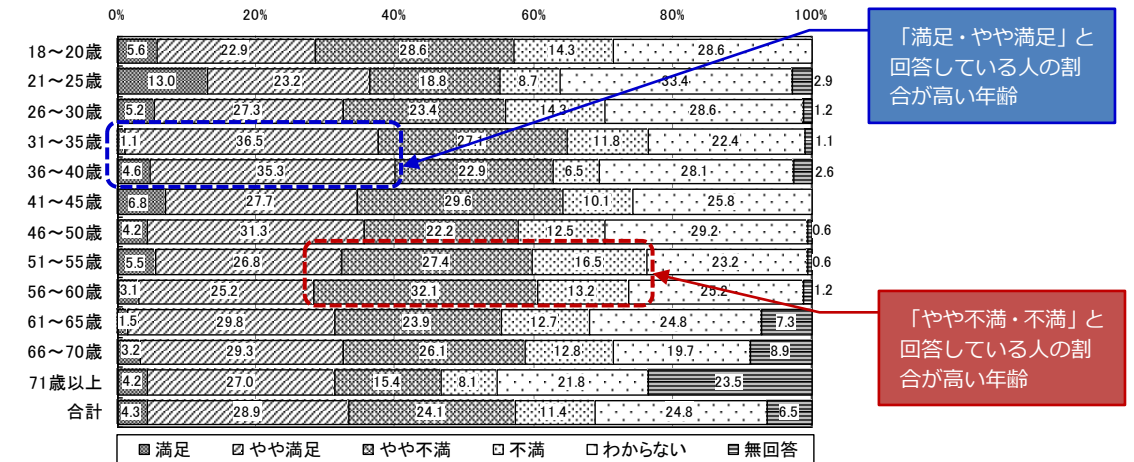
- ・平成26年度に、新たに2種を市の文化財に指定し、現在では国・県等を含め、23種類が文化財に指定されています。今後も、文化財の掘り起こし等を行い、保存と活用のための必要な措置を講じる必要があります。
- ・文化会館及び歴史民俗資料館の管理運営は、（公財）まちづくり・文化財団が指定管理者制度を導入する以前から行っています。今後も引き続き、適切な管理運営が行われているか、指定管理者としての評価を行う必要があります。
- ・平成26年度に市民文化遺産制度を創設したため、今後は当該制度を運用し、市の歴史的及び文化的な特長を示すもの並びに自然、景観等を龍ヶ崎市民遺産として認定し、市民の地域に対する誇りと愛着の醸成を図る必要があります。

(2) 市民アンケート（芸術や文化に触れ親しむ機会・施設）

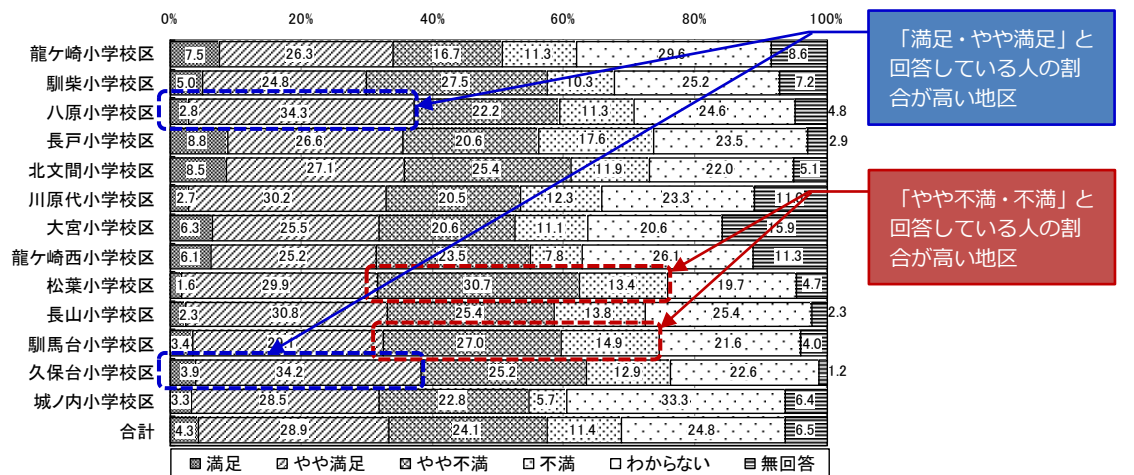
- ・芸術や文化に触れ親しむ機会・施設については、約3割（33.2%）が「満足・やや満足」と回答している一方で、約4割（35.5%）が「やや不満・不満」と回答しています。また、前回調査（平成22年度）に比べて「満足・やや満足」では1.5ポイント高く、「やや不満・不満」では6.6ポイント低くなっています。
- ・年齢別にみると、31～40歳において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の年齢層より高くなっている一方で、51～60歳において「やや不満・不満」と回答している人の割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、久保台小学校区及び八原小学校区において「満足・やや満足」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっている一方で、松葉小学校区及び駒馬台小学校区では「不満・やや不満」と回答している人の割合が他の地区に比べて高くなっています。



■年齢とのクロス集計結果



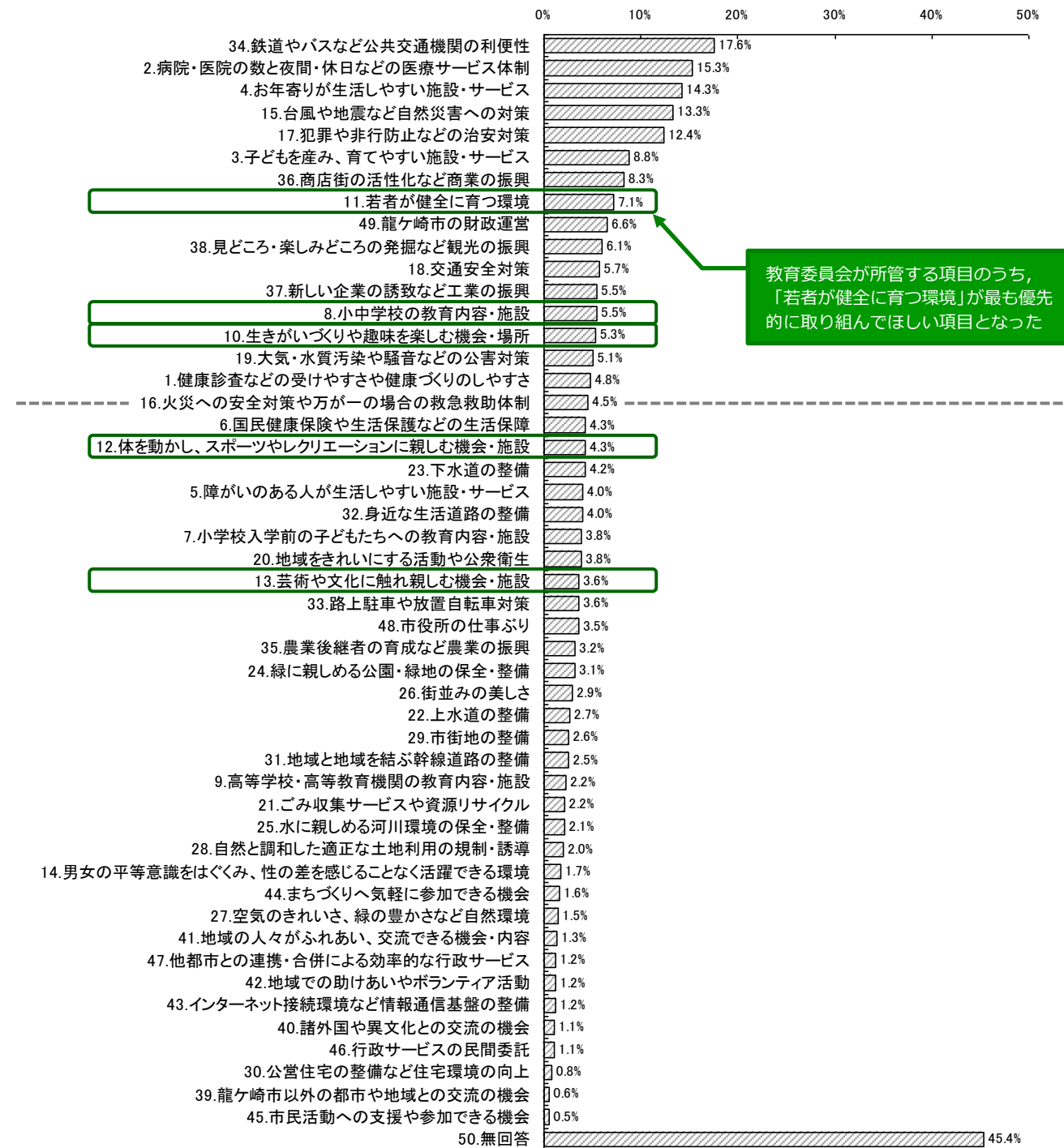
■居住地区とのクロス集計結果



これまでの教育施策の総括（成果と課題）

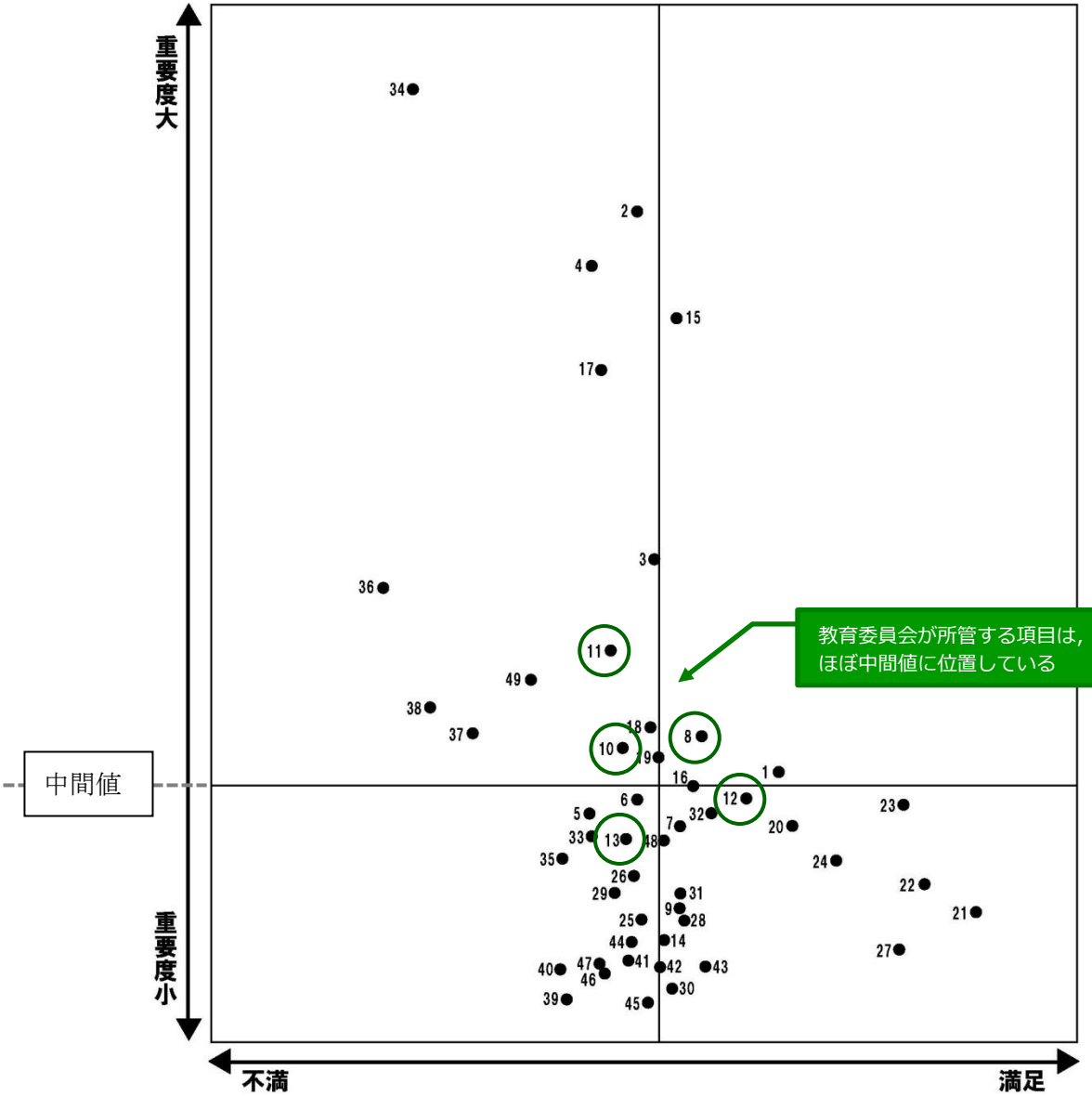
まちづくり市民アンケートの総括（優先的・重点的に取り組んでほしい項目）

- 優先的・重点的に取り組んで欲しい項目では「鉄道やバスなど公共交通機関の利便性」「病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス体制」「お年寄りが生活しやすい施設・サービス」「台風や地震など自然災害への対策」「犯罪や非行防止などの治安対策」などが上位に挙げられています。
- 中間値としては、「家裁への安全対策や万が一の場合の緊急救助活動」であり、教育委員会が関連する項目の中では、「若者が健全に育つ環境」「小中学校の教育内容・施設」「生きがいがづくりや趣味を楽しむ機会・場所」の重要度が高い結果になっています。



教育委員会が所管する項目のうち、「若者が健全に育つ環境」が最も優先的に取り組んでほしい項目となった

施策の満足度、優先度・重要度の相関図



教育委員会が所管する項目は、ほぼ中間値に位置している

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさ | 25. 水に親しめる河川環境の保全・整備 |
| 2. 病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス体制 | 26. 街並みの美しさ |
| 3. 子どもを産み、育てやすい施設・サービス | 27. 空気のきれいさ、緑の豊かさなど自然環境 |
| 4. お年寄りが生活しやすい施設・サービス | 28. 自然と調和した適正な土地利用の規制・誘導 |
| 5. 障がいのある人が生活しやすい施設・サービス | 29. 市街地の整備 |
| 6. 国民健康保険や生活保護などの生活保障 | 30. 公営住宅の整備など住宅環境の向上 |
| 7. 小学校入学前の子どもたちへの教育内容・施設 | 31. 地域と地域を結ぶ幹線道路の整備 |
| 8. 小中学校の教育内容・施設 | 32. 身近な生活道路の整備 |
| 9. 高等学校・高等教育機関の教育内容・施設 | 33. 路上駐車や放置自転車対策 |
| 10. 生きがいがづくりや趣味を楽しむ機会・場所 | 34. 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性 |
| 11. 若者が健全に育つ環境 | 35. 農業後継者の育成など農業の振興 |
| 12. 体を動かし、スポーツやレクリエーションに親しむ機会・施設 | 36. 商店街の活性化など商業の振興 |
| 13. 芸術や文化に触れ親しむ機会・施設 | 37. 新しい企業の誘致など工業の振興 |
| 14. 男女の平等意識をはぐくみ、性の差を感じることなく活躍できる環境 | 38. 見どころ・楽しみどこの発掘など観光の振興 |
| 15. 台風や地震など自然災害への対策 | 39. 龍ヶ崎市以外の都市や地域との交流の機会 |
| 16. 火災への安全対策や万が一の場合の緊急救助活動 | 40. 諸外国や異文化との交流の機会 |
| 17. 犯罪や非行防止などの治安対策 | 41. 地域の人々がふれあい、交流できる機会・内容 |
| 18. 交通安全対策 | 42. 地域での助けあいやボランティア活動 |
| 19. 大気・水質汚染や騒音などの公害対策 | 43. インターネット接続環境など情報通信基盤の整備 |
| 20. 地域をきれいにする活動や公衆衛生 | 44. まちづくりへ気軽に参加できる機会 |
| 21. ごみ収集サービスや資源リサイクル | 45. 市民活動への支援や参加できる機会 |
| 22. 上水道の整備 | 46. 行政サービスの民間委託 |
| 23. 下水道の整備 | 47. 他都市との連携・合併による効率的な行政サービス |
| 24. 緑に親しめる公園・緑地の保全・整備 | 48. 市役所の仕事ぶり |
| | 49. 龍ヶ崎市の財政運営 |